

●企画概要

1969年に出版された写真集『鎌鼬』は写真家細江英公（ほそえ えいこう）の代表作のひとつです。2009年、日本に先んじてアメリカで出版された新版の『KAMAITACHI』には、巻頭にドナルド・キーンDonald Keeneの随筆「EIKOH HOSOE'S PHOTOGRAPHS」（邦題：細江英公の写真）が加えられています。

随筆は、キーンの仕事の中でも異例ともいえるものでした。日本文学者が、写真を解説したということにとどまらず、キーンの日本紹介における信念に反してしまう危険性をも内包したことだったのです。

今回の企画展では、キーンの随筆を『鎌鼬』の写真と共にご覧いただきます。そして、キーンが随筆を寄せるに至った経緯を、「ドナルド・キーンDonald Keeneの日本紹介における信念」、「細江英公と土方巽・三島由紀夫」、「ドナルド・キーンと細江英公の交流」の3つの視座から見ていきます。

ドナルド・キーンと細江英公の関係は、ほとんど知られていません。両者の関係は三島由紀夫を結節点とし、間接的ではあれ、キーンと1960年代の日本の前衛芸術の担い手たちとをつなぐものでもありました。

●みどころ

1. ドナルド・キーンDonald Keeneの解説で見る『鎌鼬』

『鎌鼬』の一部を、随筆「EIKOH HOSOE'S PHOTOGRAPHS」の原文と和訳とともに展示いたします。原文と和訳の違いを見比べながら、迫力ある大判印刷の『鎌鼬』をお楽しみください。

2. 土方巽、三島由紀夫の貴重資料の公開

細江英公の創作を支えた土方巽（ひじかた たつみ）と三島由紀夫に関する資料を展示します。暗黒舞踏のひとつの出発点となる〈禁色（きんじき）〉を発表した「第6回新人舞踊公演」（1959）パンフレット、『土方巽 DANCE EXPERIENCE の会 土方巽氏における細江英公写真集』（1960）に掲載された三島由紀夫「危機の舞踊」の自筆原稿といった貴重資料をご覧いただけます。

3. 細江英公とドナルド・キーンDonald Keeneの交流に関する資料

ドナルド・キーン旧蔵の細江英公の著書と、2012年にBLD Galleryで行われた対談会の写真を展示いたします。両者の交流が始まった時期を知る重要な資料と、これまで公開されることのなかった対談会の舞台裏の写真をご覧いただけます。